

Network9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン



2021年8月号 No.373

Network9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

2021年8月号 No.373

表紙 仏花

石川 真樹 [茨城 1組 福法寺]

花材 アレカヤシ、ヒマワリ、
スカシユリ、小菊、ドラセナ



Shinran
S50th
S500th

—(2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ)—
南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2021年8月1日

編集 教化委員会広報・出版部門

『ネットワークナイン』班 編集員

総編集長：本田 彰一（東京1）

チーフ：中村 晃（茨城1）

佐々木誠信（東京4）朝倉 俊隆（東京5）五島 大地（東京8）大山 信敬（茨城2）

チーフ：田上 翼（茨城1）

坂東 性悦（東京2）平松 正宣（東京3）櫻田 純（東京6）秦 顕生（湘南）

チーフ：田宮 真人（東京8）

内藤 友樹（東京1）渡邊 尚康（東京3）相馬 法道（茨城1）鞠川 卓史（湘南）

発行 真宗大谷派東京教区教化委員会

〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館

TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。

もくじ

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業

- 03 今後の教区慶讃事業予定

- 04 法語ポスター

教区教化通信 総合調整総務会

- 05 伝道講習会 田宮 真人

教区教化通信 研修部門

- 06 秋安居報告③

教区教化通信 教学館

- 08 私の出遇った言葉 竹川 英紀

教区教化通信 大谷保育協会

- 09 子育ての大地 稲垣 智之

はい！こちら真宗会館です

- 12 駐在日記 佐々木 弘明

はい！こちら真宗会館です

- 13 所員のつぶやき 舘 欣子

- 15 敬弔・涌 平松 正宣



Shinran
500th

—2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年

南無阿彌陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

慶讚テーマ

本山慶讚法要期間

【第1期法要】(15日間)

2023年3月25日(土)～4月8日(土)

【讚仰期間】

2023年4月9日(日)～4月14日(金)

【第2期法要】(15日間)

2023年4月15日(土)～4月29日(土)

今後の教区慶讚事業予定

慶讚法要の意義を学ぶ研修会

【期日】2021年10月15日(金) 14時から

【お話】白山 勝久 氏 (東京5組 西蓮寺)

教区慶讚事業企画運営委員／慶讚法要テーマに関する教学検討委員会委員

酒井 義一 氏 (東京5組 存明寺)

教区慶讚事業企画運営委員／宗務審議会「慶讚法要基本計画に関する委員会」会長代理

「教学・教化に関する小委員会」主査

柴崎 光 氏 (茨城1組 一乗寺門徒)

教区慶讚事業企画運営委員／教区門徒会長

※開催方法につきましては、あらためてご案内いたします。

教区慶讚法要お待ち受け大会

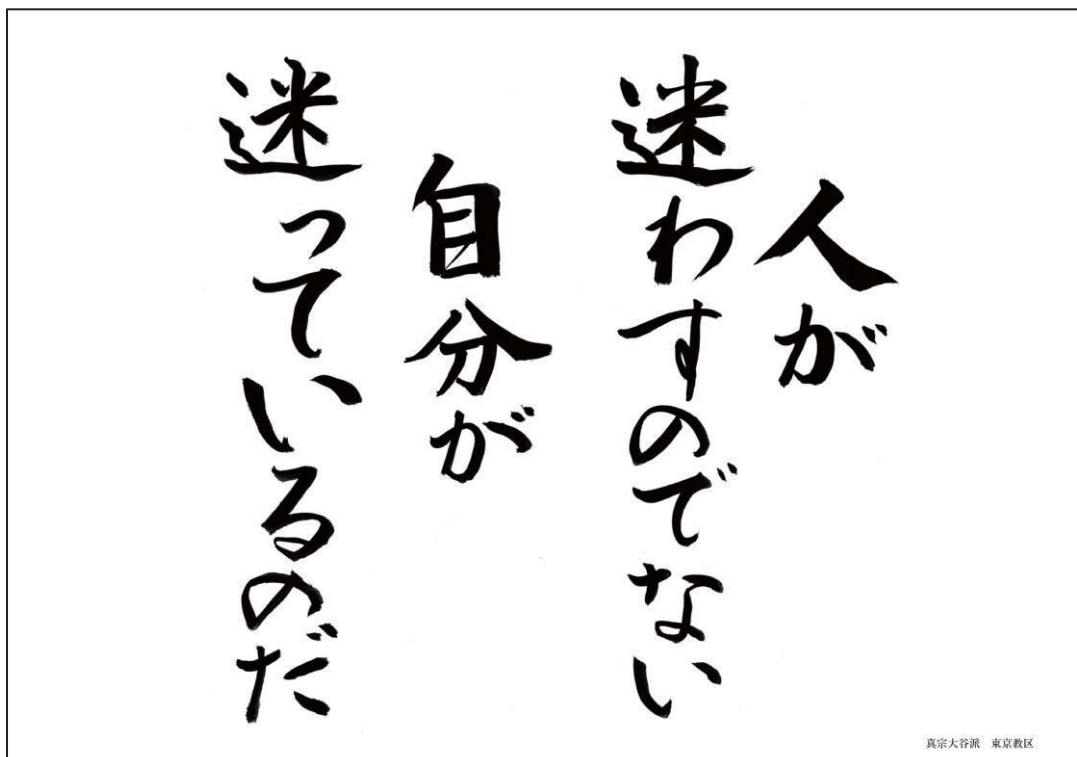
【期日】2022年6月13日(月)

※開催方法、内容につきましては、あらためてご案内いたします。



【本山慶讚法要特設サイト】
慶讚テーマの趣旨や慶讚法要に関する様々な情報が掲載されています。

今月の法語



書：佐藤 多仙

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。
詳細は東京教務所まで。

教区教化通信 総合調整総務会

「伝道講習会」

△伝道講習会（本講）概要△

道場長 本多 雅人 氏

（東京2組蓮光寺住職）

講 師 松井 憲一 氏

（元大谷大学非常勤講師）

【事前学習会】

4月 22日（木）14時～17時

於 東本願寺 「真宗会館」
本講を迎えるにあたり道場長から講義

【本講】

5月 24日（月）～29日（土）

於 沢渡温泉 「宮田屋旅館」

『歎異抄』講義（全5回）・道場長講義（全3回）・『如来のまなざしの中を』輪読・攻究、法話原稿作成等

【法話実習】

5月 31日（月）13時～16時

於 東京2組蓮光寺

本講での学びをもとに本堂で法話

伝道講習会に参加して

東京8組 究竟寺 田宮 真人

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、延期を余儀なくされた「第22回東京教区伝道講習会」。今回はスタッフ・受講生全員が事前にPCR検査を受け、毎日検温を行ない、感染対策を講じながら、群馬県沢渡温泉「宮田屋旅館」にて5月24日～29日の本講に臨んだ。

残念ながら、当初参加予定だった受講生のうち2名が、それぞれの事情により、ともに本講へ全日参加することが出来なくなつた。しかしながら、そのことは私たちにとって、「この場にこの身をいただいている」ということを考へる縁となつてはたらき、私たちは松井憲一先生による『歎異抄』の講義をより真剣に聞き、宮田屋旅館での貴重なひと時をより丁寧に味わうことが出来たように思う。

同31日に葛飾区・蓮光寺において行われた法話実習では、本多雅人道場長の「法話は、仏法を通して生活現場での自分のあり方、自覚内容を言葉にすることが大切」というお話を念頭に、各々が緊張しながらも、初めての法話に挑戦した。

法話の後で行われた合評は、「どう伝えるか」はもちろん、「どこに立つて伝えるか」という、法話をする上で最も肝心な部分を互いに確かめ合う充実した場となつた。また、今回本講への参加が叶わなかつた2名の方から感話をいただき、二者とも来期の参加を誓われたことが何よりも嬉しかつた。

コロナ禍という難しい状況の中にも関わらず、伝統にのつとつた形での聞法の場を開くべくご尽力くださつた方々へ心より感謝したい。



教区教化通信 研修部門

講題：「摂大乘論第十章彼果智分の考究」

秋安居

第四回 講義テーマ「法身思想と仏身仏土の問題」
講師：宮下 晴輝師（2019年度 本山安居次講 講者）

■法身思想の端緒1 阿含經における法身

うのです。

法身という問題から話していきます。昨日、「無分別智を得たところで、法身を証得する」という表現がありました。法身を証得すると

まず、人々、どういうところで法身という言葉が使われて、どんな意味を持っていたのか確かめたいと思います。（略）

相應部經典「ヴァンカリ」に「法身」という語が用いられているのではないが、主題は、仏陀の身体にあることができるの、その一部を引きます。

長老ヴァンカリという弟子が重病になり、釈尊は、彼を見舞います。ヴァンカリは見舞いにこられた釈尊に、胸のつかえを告白します。

「尊師よ、わたしは親しく尊師を拝見したくおぼに参らうと望んでいます。しかし、わたくしが世尊を拝見するために、おぼに参りますだけの力がわたしの身体にはありません」というのです。

それがやがて法身の意味が充足していくと、いう形で『解深密經』や他のものが説いていきます。それを本日はたずねてみようと思はこの腐つてゆく身体を見たからといって何

2019年安居次講

『摂大乘論第十章彼果智分の考究』

著者：宮下 晴輝（著）

発行年月日：2019年7月4日

ページ数：242ページ
判型：A5
価格：3,850円

摂大乘論第十章彼果智分の考究 宮下晴輝

一〇一九年 安居次講

東本願寺

この度、ご報告している安居講録です。
ご購入を希望される方は、東京教務所まで
お問合せください。

☎ 03-5393-0810

にならうか。ヴァッカリよ。私を見るものは法を見るのです。ヴァッカリよ。私を見るものは、法を見るのです」と言います。

漢訳では、「法を見るものは仏を見る。仏を見るものは法を見る」といいます。この教説には背景があります。

ヴァッカリの出家の動機は、釈尊にお会いして、「なんとこの方は堂々とした美しいお姿をしておられるのだろう」と思つて、「こんな立派なお姿をしておられる方は、仏陀の他にいないだろう」と、この仏陀に従つて教えを聞こうと出家したのです。

出家する際の仏教徒の信仰箇条は、この方は仏陀であると信ずることです。「ここに仏陀がおられる」と仏陀に帰依して、私はその教えを聞いて生きていこうとする。これが仏教徒になることです。

そして、仏陀と信じることが出来た人には、理由があるのです。信ずるには信ずる根拠があるのです。

ヴァッカリの場合は、釈尊のお身体を見て、仏教徒になつたのです。釈尊のお姿を通して、法を聞こうという心が起つてきましたのです。ですから、仏陀の姿を拝見出来ないのは、信仰の危機なのです。

釈尊は、ヴァッカリがどういう理由で、信仰を持ったか知つておられるのです。

だから、「あなたは一体、何を見て仏陀と言つているのだ。腐つてゆく身体を見たからといつて何にならうか。法を見るものが仏陀を見るのであり、法を見る者が、わたしを仏陀として仰ぐことが出来るのだ」といいます。

仏教の信仰の根本問題です。しかも仏陀の身体が問題になっている。「あなたは何を見て仏陀と思っているのだ。腐つてゆく身体を見て、仏陀だと思っているのか」という問いかけになつています。何に出会つているのか、そして、あなたは一人の人を通して何を見ているかという問題です。釈尊の上に法を見るということがあつて、はじめて仏陀を見るということがあるのだ。それがこの教説の意味するところです。

(文責 研修部門)

研修部門今後の予定

2021年度東京教区

聖典学習会——正信偈に学ぶ——

日 時 ..

① 2021年10月25日(月)
13時～17時

② 2021年12月13日(月)
9時30分～13時

③ 2022年2月15日(火)
13時～17時

④ 2022年4月11日(月)
13時～17時

⑤ 2022年6月6日(月)
13時～17時

13時～17時

開催方法…未定

研修冥加金…お一人1,000円
講師…一楽真氏

(大谷大学真宗学科教授)

※お申込み、詳細については東京教務所(担当…渡邊栄)までお問い合わせください。

私が出遇つた言葉

東京4組　願正寺　竹川 英紀



「自己責任」

今回の基調講義の西田先生はいつもにもまして獅子吼されておりました。今回は事前に用意したレジュメがないからなのか、ご自身の頭の中で展開されている言葉を自由にストレートに表しているように見受けられました。

返せば、自己の多様性を認識できないからこそ他の多様性、他人との違いを受け入れられないでしよう。

西田先生は、主体が成立しないと信仰が成り立たないと言います。解読者の言葉で、責任で解釈するしかない。一人一人の表現が求められている時代であると言います。組織や

「自分の真宗」は西田先生の教学館当初からの言葉です。「自分の真宗」を包むサンガを持つことが、「自分の真宗」の成立につながるのではないかでしようか。それが真宗の「自己責任」ではないかと感じました。と自分のことを棚にあげて自分勝手に考えている自分がいます。Zooでもなんでも私には他者が必要です。

第24回 教学館月例研修会(オンライン開催)
基調講義：眞宗原論
・阿弥陀佛と知の被限定性の臨界点に立ちての私論・
2021年6月9日～10日

**特別講義：「他者にふれる」身体論から考える
利他」**
西田 真因 氏(元教学研究所所長)
・阿弥陀佛と知の被限定性の臨界点に立ちての私論・
2021年6月9日～10日

伊藤 亜紗 氏(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

前日の伊藤亜紗氏の特別講義を受け、「自己責任」が今講義のキーワードでした。伊藤氏は自分自身の多様性を認識することが利他につながると話されていました。宿業の身と知ることだと思います。「自身は現にこれ罪惡生死の凡夫」である「出離の縁あることなき身」と知ることで罪の自己を自覚する。自覺し、「助けられる存在である自分」を知ることが、自己の多様性の認識になっていく。自己の多様性を認めることで他者の多様性を受け入れられるのではないでしようか。裏

目覚めていく。個人の間違いや多様性をどれだけ社会が許容できるか、包めるかが、個人と社会の多様性を担保することになると思います。しかし、実社会ではそれは難しい。だからこそ多様性を包むサンガが求められるのでしよう。



ピンチをチャンスに

4月25日、東京都に「緊急事態宣言」が発令されました。また、めぐみ保育園のある横浜市は、4月20日から5月11日まで「まん延防止等重点措置」下にあります。その後どうなったか、今は分かりませんが、早く状況が落ち着いてほしいと願っています。

当たり前のことですが、保育園は社会を支える基礎的な施設ですので、



余程のことがない限り休めません。「まん延防止等重点措置」が出ようと「緊急事態宣言」が出ようと、出来る限り保育を継続していくべきだと思います。

一方で、保育園はお子さんの大切な命を預かる施設ですから、お子さんの安全安心に不安がある時は、保育を継続できません。新型コロナウイルス感染症拡大を受け、園長としていつもその狭間で悩んでいます。

ところで、実は保育園というのは新型コロナウイルス以前から、多くのウイルスや細菌と対峙してきました。あまり知られてはいないかも知れませんが、新型インフルエンザウイルス、ノロウイルス、O-157 大腸菌等、ずっと様々な手強いウイルス・細菌への対応に追われています。古くからある感染症として、麻疹等もあります。

保育園というのは、乳幼児が長い時間、同じ空間で生活をする所ですから、3密は避けられません。残念ながら、とても感染リスクが大きい所と言えます。変な言い方かもしれません、保育園の感染症対策の経験が今生きているのだと、前向きに思っています。

「ピンチはチャンス」という言葉があります。ピンチだからこそ変えられる事や、苦しい時だからこそ出てくるエネルギーというものもあります。近い未来に過去を振り返ったとき、「新型コロナウイルスでの苦い経験が役に立って、保育園がより良くなつた」。そういうふうに前向きに話せるよう、職員とともに、もう少し頑張っていこうと思っています。

社会福祉法人徳風寺
めぐみ保育園
(横浜市)
園長 稲垣 智之



「門徒宅用伝道掲示板」設置の募集

東本願寺  掲示伝道

掲示板サイズ
高さ58cm 幅87cm 重さ約10kg



- ① 内容
ご門徒を募集いたしますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。
- ② 掲示板は無償で設置いたします。
(教区が全額負担)
- ③ お申し込み、お問い合わせは東京教務所(担当者:栗生)までご連絡ください。

スマホやパソコンでぜひアクセスを! 東京教区のホームページ

暮らしに
じいーん



www.ji-n.net

検索 暮らしにじいーん

お寺をもっと身近に

多彩なコンテンツ

じいーん散歩 New
しんらんさまめぐり
法話/行事・講座
なるほど仏事作法
寺院検索
他

うちのお寺も載ってる!



スタッフ募集

パソコン技術は不要です

ホームページ班のメンバーは僧侶に限らず、月に約1回のペースで集い、アイデアを出し合ったり、時には現地取材もしています。ぜひ一緒に活動しませんか? (お問合せは教務所/不動まで)

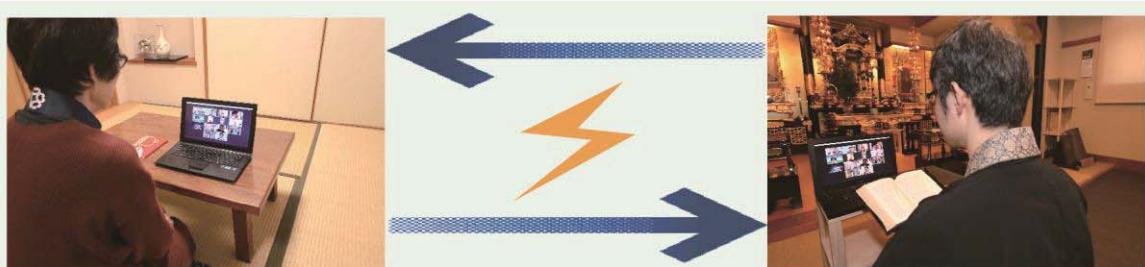
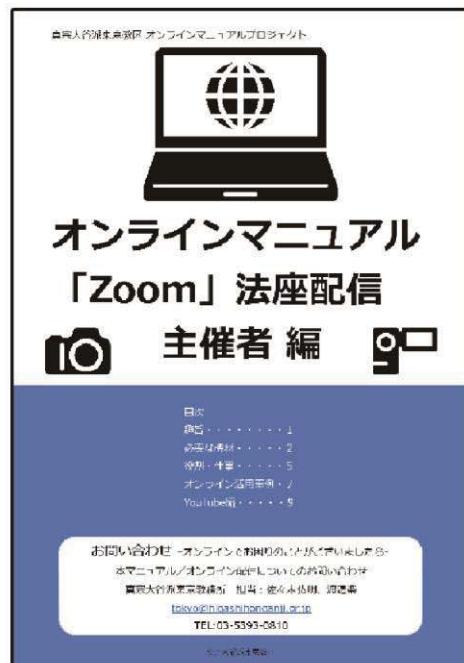
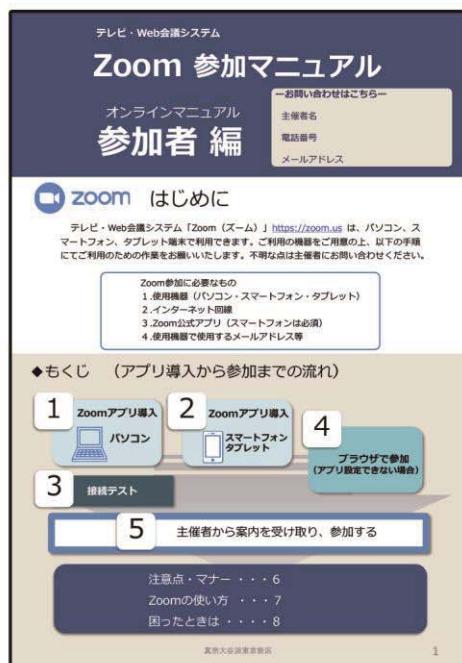
web会議ツール
Zoom 用

オンライン マニュアル

主催者編
&
参加者編

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、オンライン法座を検討されている方々への一助となるよう、東京教区では web 会議ツール「Zoom」用のオンラインマニュアルを作成しました。

ダウンロードしての印刷・配布はもちろん、独自に文字等を変更することも可能です。
どうぞ下記、東京教区ホームページよりダウンロードしてご活用ください。



真宗大谷派東京教区ホームページ (暮らしにじいーん)

<http://www.ji-n.net> にてダウンロードできます。

※web版は隨時バージョンアップし、アップロードしていきます。

問合わせ先 東京教務所（佐々木・渡邊 楽）

はい！こちら真宗会館です

駐在日記



駐在からひとこと

写真：青少幼年部門内部研修にて
(福島県双葉郡双葉町)

東京教区駐在教導

佐々木 弘明

〈見えない悲しみ〉

「あさがおの
ピンクのつぼみが
おちていた」

小学1年生の娘が、自分で作った俳句を学校で発表したと嬉しそうに話してくれた。俳句を聞いた時は、五七五の十七音の定型になっていて、季語（「朝顔」は初秋の季語のようだ）も入り、基本は押さえられているなと思う程度だった。俳句の味わい方については嗜みのない私であるが、よくよく内容について考えてみると、「なぜ咲いている花のことではなく、落ちたつぼみのことを娘は俳句として表現したのか」ということが気にかかった。

「どうして落ちたつぼみのことを俳句にしたの？」と娘に聞いてみると、「悲しかったから」。その一言で、嬉しそうに話していたが、そこには悲しい思いがあったことを知った。

話は変わるが、先日「東日本大震災・

原子力災害伝承館」（上記写真）に行く機会があった。この伝承館（2020年9月に開館）は、福島が復興に向き合ってきた「証」を、アーカイブ（資料）として収集、保存、展示することを目的としている。震災前、この伝承館の場所には、家があり、人が住んでいたが、震災の際、津波によって家は流され、現在は一般の住宅を建設する許可が下りない土地であることを現地の方から聞いた。その方は、「そこに住んでいた人にとって、自分が住んでいた土地に戻ることができない中、暮らしていた土地の上に、震災の記憶を伝承していくための新しい建物ができたということをどう感じているのだろうか」と問いかけられた。

表面的には「悲しみ」がそこにはないようを感じたり、気づかないこともある。自分の中にも潜んでいる多くの「悲しみ」にも、なかなか気づくことができないのかもしれない。

はい！こちら真宗会館です



東京宗務出張所

主計事務取扱

館 欣子



担当：会計事務全般

最近はまっているサブスク：Disney+

真宗会館に来てから、もうすぐ7年が経とうとしています。小さい頃からいわゆる転勤族で引っ越しを繰り返す生活だったため、7年という歳月を同じ場所で過ごすのは初めてのことです。

子どもの頃に多くの引っ越しを経験すると、「新しい環境に適応するため、人一倍他人の目を気にするようになる」と一般的に言われていますが、私はまさにその通りだなあということを思います。基本的には相手にどう見られているかどうかで物事を判断するクセがついていました。

これは、とある日の、ある後輩との出来事です。その後輩は、私の目から見ると、マイペースで失敗しても笑っているようなタイプでした。「嫌なことを言う先輩だと思われたくない」という思いで注意することから逃げていましたが、ある日態度を注意するとともに、「他の人からどう思われているかどう

か考えたことはないの？」と、私の持つ「他人の目を気にして嫌われないように生きる」という価値観を押し付けてしまったことがあります。その後輩の困ったような表情を見て、私情の入った注意をしていることに気付きました。

「空気を読むこと」が美德と考えられている日本社会で、このクセは時に私を守ってくれる盾ですが、一方で自由を許さない鎖のようでもありました。鎖に絡めとられそうになったとき、「何が私を苦しめているのか 自分が握りしめているその物差しです」という法語を思い出すようにしています。握りしめた手を、完全に離すことはできなくても、はっと気づいたときに緩めることができたからこそ、これまでやってこられたのではないかなと思います。

教区門徒会長

高橋 義人 氏の

ご逝去について



去る、7月7日（水）に東京教区門徒会長である高橋義人氏（東京1組敬覺寺所属87歳）が御命終されました。

また、ご葬儀は7月15日（木）に敬覺寺にて執り行われました。高橋会長におかれましては、2015年から教区門徒会副会长、2018年から教区門徒会会长に就任され、教区の諸事業にご尽力賜りました。

ここに、生前の御功労を偲び、深く哀悼の意を表し、謹んで御通知申し上げます。

人事異動



【離任】

北島 昭彦

東京教務所次長 → 高岡教務所長兼富山教務所長

柳野 大輔

東京宗務出張所次長 → 山陽教務所長

【着任】

関 得道

金沢教務所次長 → 東京教務所次長

里雄 亮意

本廟部次長 → 東京宗務出張所次長

（2021年6月30日付）

次号にてご挨拶を掲載させていただきます。



敬弔

大内 真雄 様

茨城 1組 聖徳寺 前住職
6月10日命終 92歳

生前のご功労を偲び、
念仏合掌して哀悼の意を表します。

6月末日届出迄

涌

編集員の隨筆



「SDGs」という言葉をご存知でしようか。「SDGs」とは「持続可能な開発目標」の略で、2015年に国連が定めた「2030年までに達成を目指す17項目の国際目標」のことです。先進国・発展途上国問わず、全世界でさまざまな努力が行われ、テレビや新聞などのメディアを通して、国や自治体、企業の取り組みが紹介されています。

目標の内容は、①生態系や森林、海洋資源の保護や気候変動対策といった環境に関する分野、②エネルギーや資源の有効活用や働き方の改善などの経済に関する分野、③貧困・飢餓の解消、教育機会やジェンダーの平等という社会に関する分野と、大きく3つの分野に分けることができます。それらは、今、世界が直面している問題を解消するためのものであります。

しかし実際には、①の環境に関する目標よりも、②の経済や③の社会に関する目標が多く、

く定められており、割合が偏っています。うがつた見方をすれば、「人類がこれからも平等に発展できるように、ついでに地球環境も守つていいこう」と人類至上主義になりかねない活動になるような気がします。便利で快適な生活が、他の生物や弱者の犠牲の上で成り立つっているにもかかわらず、その生活を放棄できない私たちの業が重なるように思われます。

ともあれ、今の状況で何もしないで手をこまねいていると、人類の発展どころか、地球環境の悪化によって生物が住めなくなつてしまふかもしれません。「地球がダメになるからじゃないかなんだ、やってみる価値ありますぜ」というように、一人一人ができるところから取り組んでいくことに意義があると思います。

(東京3組 教元寺 平松 正宣)